

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム醍醐の家ほっこり

作成日: 令和 2 年 4 月 25 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	センター方式を活用しありのままの姿を受け止めその人らしさを大切に支援していますが、日々の変化や気づきを共有するまでに至っていない。	センター方式を活用し、職員全体でその人らしさを受け止めることが出来るように、気づいたこと、感じたことはその都度追記を行い、共有できるようにする。ケアの統一を図り、支援内容がその人に沿ったものになっているか考える。	ケアに迷いが生じたときや、個別援助計画の見直しの時期には職員全員が共有できるようセンター方式の見直しを行っていく。	12ヶ月
2	10	モニタリングを行う際、評価があいまいであった。多職種の意見を個別援助計画に反映するため専門職の意見を取り入れてはいたが書面に残せていなかった。	解決すべき課題に向けて取り組んであるが、まずは短期目標が達成できているか評価を行っていく。	月1回のフロア会議では、担当者を中心に、短期目標の達成を評価し、半年ごとの見直しには反映出来るようにする。	12ヶ月
3	13	災害対策について、福祉避難所であるが、備蓄品の必要量の確保や役割分担など細かな整備がまだまだ充分ではない。	自施設の利用者の対応や想定される避難者のおおよその数の把握など、なすべきことは限りなくあると考えている。最優先にするべきことをまとめ後回しにならないように進めていく。	いつ起こるか分からない災害であるが、いろいろな場面を想定し、手順や役割をまとめていく。備蓄については購入方法や量を把握し出来るところから進める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。